

【NEWS RELEASE】

2020年10月16日

SMBC日興証券株式会社

「東京グリーンボンド(30年)第4回」引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、東京都が発行する「東京グリーンボンド(30年)第4回」(以下「本グリーンボンド」)の引受けにおいて共同主幹事を務めることになりましたので、お知らせいたします。

東京都は、2017年10月に国内自治体として初めてグリーンボンドの発行を行いました。以降、発行体と投資家双方の裾野が広がることを目指し毎年継続的に発行を行っており、今年度で4回目を迎えました。本グリーンボンドの発行にあたっては、昨年度に引き続き、第三者機関による評価(セカンド・パーティー・オピニオン)^{※1}を取得しています。グリーンボンド市場が茲許で拡がりを見せる中、東京都が定める「『未来の東京』戦略ビジョン」^{※2}において、SDGsの目線から東京都が率先して政策を推進することとしており、金融分野における主要事業のひとつとして「東京グリーンボンド」の発行を位置づけております。本グリーンボンドで調達する資金は、環境への好影響が大きいと想定される事業(スマートエネルギー都市づくり、自然環境の保全、気候変動への適応、生活環境の向上)に充当する予定となっており、従前から行っている都の環境施策に加えて、新たな環境施策を強力に推進していくことを企図しております。

当社では、SDGsの達成のために、金融・資本市場におけるビジネスを通じて、環境問題や社会問題の解決に資するファイナンスニーズの捕捉及びESGの推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、グリーンボンド及びSDGsファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本におけるESG投資、ESGをテーマとした商品の更なる拡大につながるものと考えております。また、本グリーンボンドの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「すべての人に健康と福祉を」、「安全な水とトイレを世界中に」、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「住み続けられるまちづくりを」、「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。



※1 評価等の取得は、国際資本市場協会(ICMA)が作成したグリーンボンド原則により推奨されており、「グリーンボンドの発行方針」に基づき、「東京グリーンボンド」の適格性と透明性を確保し、投資家への訴求力を向上させることを目的としたものです。評価の取得先は、グリーンボンドの評価について世界的な実績を有するESG調査機関であるISS-ESGから取得しています。

※2 2040年に目指す東京の姿「ビジョン」と、その実現のために2030年に向けて取り組むべき「戦略」を示した策定プラン。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

【今回発行される東京グリーンボンド 30 年(第 4 回)の概要】

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 名称 | 東京都公募公債(東京グリーンボンド(30 年))第 4 回 |
| 年限 | 30 年 |
| 利率 | 年 0.688% |
| 発行額 | 100 億円 |
| 条件決定日 | 2020 年 10 月 16 日(金) |
| 払込日 | 2020 年 10 月 27 日(火) |
| 償還日 | 2050 年(令和 32 年)9 月 20 日(火)に満期一括償還 |
| 取得格付 | A+(S&P) |

以 上